



日本遺産 Japan Heritage

Vol. 10

ちんじゅふ
「鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴
~日本近代化の躍動を体感できるまち~」
まるでやまほうらい
旧陸軍佐世保要塞 丸出山堡壘観測所跡

丸出山堡壘は、佐世保軍港を防備する佐世保要塞に属する砲台として1901年に築られました。敵艦船との長時間の砲戦を想定した佐世保要塞において主力となる砲戦砲台であり、直射砲(克式35口径中心軸24cmカノン砲)4門と曲射砲(28cm榴弾砲)4門を備えていました。丸出山堡壘観測所は、曲射砲の砲戦指揮のため建設されました。

標的を直接狙う直射砲に比べ、曲射砲は弾道が山なりになるため、運用には緻密なデータと計算、素早い補正などが必要でした。この観測所は、装備された測遠機で敵艦船との距離や着弾地点を観測して砲台に連絡する役割を担っていました。

また、観測所の周囲には周濠が掘られており、海から観測兵の移動が見えないように工夫されています。この観測所には装甲掩蓋が今もなお残されていますが、日本国内で現存しているのは、この丸出山と由良要塞友ヶ島第一砲台(和歌山市)にしかありません。現在は、「世界で最も美しい湾」の一つとして認められた九十九島の絶景を眺めることができる展望所となっています。



日本遺産とは

地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産(Japan Heritage)」として文化庁が認定するもの



内部は上段の観測所と連絡が取れるようになっている



丸出山付近にある小首堡壘跡

問合せ 佐世保市観光課 ☎0956-24-1111

日本遺産 鎮守府

検索

